

シリーズ化し、各事業所における意思決定支援の取り組みを紹介しています。

5回目の今回は、最も障害福祉サービスの入口である「相談支援センターほっと」の取り組みを紹介します。



意思決定支援で大事なこと

相談支援センターほっとでは、特定相談支援、障がい児相談支援を提供しています。

主な役割の計画相談では、福祉サービスを利用する方の希望や目標を、本人、ご家族、支援関係者とともに考えて、それを書類（サービス等利用計画案）にまとめます。実際にサービスを利用した感想や、支援の状況を確認し報告書を作ります。サービス等利用計画には「本人の想いの要約」、サービス等利用計画やモニタリング報告書は、「利用者同意署名欄」があります。利用する方を中心に、関係する皆で応援するための書類です。



利用する方本人が表出することだけでなく、行動、表情、視線などから、意向を推測し、仮説を立てて、検証を繰り返し、「私（本人）の思い」に近づいていく取り組みは、日々直接関わることの多いサービス提供事業所の支援と同様です。

「本人の思い」は、一方的に本人、ご家族、支援者が判断するものではありません。本人が表出することばや行動などから、「私の気持ち」を本人が伝え、知り、本人、周囲の人々が、「私」の生活の質が上がる、「私」の力が伸びる、発揮できるなどを包括して、「私」と『私』の周囲の人々の共通した

目標としていくものです。

「私」の想いを推測するときや働きかけの手立てを考えるときには、支援者もそれぞれの経験や知識から知恵を絞ります。また、ご家族にはご家族ならではの思いもあります。本人の行動から何かを推測し、仮説を立てていく時、それぞれが違う経験、知識、思いを



もって、違う仮説を持っていること、また、「意思」は、変化していくと意識化することが大切です。体験していないことは「いやだ」「やりたくない」不慣れなことは「苦手」「きらい」かもしれません。けれども親しい友人といっしょなら、「やってみたい」こともあるかもしれない。また、体調が良くない時は「ゆっくりしたい」けれども、体力が向上してきて、「登山に行きたい」という気持ちになることもあります。

「私の思い」が尊重され実現してきた時に「できた」「うれしい」「落ち着く」など、本人の感想や見せてくれる表情や行動は様々です。「周囲の人」は、その時共通して、うれしそうにしていると感じます。

「私の思い」に向けて、「私」はどう行動しているのか、支援者はどう働きかけ、働きかけの結果はどうだったのか、また、それに伴う工夫や周囲の人の願いは何か。「私」はどう感じているのかなど、「私」と『私』の周囲の人々で確認し、変化していく「私（本人）の思い」を共有していくことが相談支援の役割のひとつといえます。



きらきら星 みいつけた!

甘露保育園では、「子どもの主体性を尊重する保育の充実」を目標に保育を行っています。今回は、年少・年中合同クラス(すみれ組、すずらん組)の活動をご紹介します。

外に出るとプランターを動かして虫探しに夢中な様子。「見て、何かいる」発見したのは、アリやダンゴムシなどの虫たち。友だちも集まって、興味津々にのぞき込んでいます。



虫や花の名前などが気になり、図鑑を広げて調べ始める姿が見られ、自分たちで図鑑作りも始まっています。



初めて触ったよ



子どもたちは、カタツムリをもらおうと飼育を始めました。図鑑で生態を調べながら家を作り、給食から野菜を分けてもらい餌やりをするなど子どもたちが考えながらお世話しています。



カタツムリの図鑑に「紙を登っていく」と書かれていることを発見すると「やってみたい」と目を輝かせながら早速やってみることに。一匹は上へ登り、もう一匹は下に。「あれ? 下に行っちゃった」と心配そうに見ているとしばらくすると登り始めて無事合流。夢中になって観察を続けていると、カタツムリの上にもう一匹が乗りかかり、それを見た子どもたちは、「おんぶしてる」と仲良しなカタツムリに嬉しそうな笑顔。

他にも「くっ付いてる!」「うんちがオレンジだ」「触れたよ～」といろいろな発見や経験の中で生き物の不思議さや面白さに気づき、関わる中で命を大切にする気持ちも芽生えてきています。

子どもたちの声に耳を傾け、目線の先に目を向けてみると、大人が驚くような子どもたちの思考に気づかされます。これからも、子ども・保育者ともに一緒になってドキドキ、ワクワクするような活動を展開していきます。



味遊カフェニュース



5月初めからイートインを再開しています。風通しのいいテラス席で、ほっと一息いかがでしょうか。引き続き、テイクアウトでもご利用もできます。新作スイーツも時々登場するかも!! ご来店お待ちしております!

リレーコラム

前回の「ともいき宝池和順 橋詰 萌葉さん」からバトンを受け取ったのは「ともいきライフ住吉 富岡 紗英さん」です

ともいき宝池和順・橋詰萌葉さんよりバトンを受け取りました、ともいきライフ住吉の富岡です。

「上田ー！ファイトー！」今日も元気な掛け声が体育館に響き渡ります。飽きっぽく運動神経のかけらもないわたしですが、学生の頃より8年間、スペシャルオリンピックス・バスケットボールプログラムのボランティアに参加し、知的障がいのある方々と月に2~3回トレーニングに励んでいます。そこでの皆さんとの出会いが、障がい者福祉の道へ進むきっかけとなりました。アスリートは主に20~50代の社会人ですが、最近は養護学校の小・中学生のメンバーも増え、賑やかになってきました。最初は自分のことを発信するのが苦手な子でも、回数を重ねていくうちに「ボールが怖くなくなったよ！ゴールが入ったよ！」と笑顔で話してくれる場面が多くなり、楽しくコミュニケーションを取りながら活動に参加させて頂いています。みんなで声を掛け合いながら互いを認め合っ



て成長していく、それを間近で感じながら、また、自分自身も仲間から刺激を受けたり新しい一面を知ったりする時間になっています。あっ、長いこと参加させてもらっていますが、へたくそなので期待しないでください(笑)

県外出身のわたしですが、アスリートをはじめ、ご家族の皆様やコーチ達に支えられながら、みんながそれぞれに居場所を作ってくださっている事に感謝しています。

富岡さんありがとうございました！さて次回のリレーコラムは・・・

『ともいき宝池慈光の 大屋 勉 さん』です。よろしくお願いします！

みちるべ

道標 ~木下の知恵袋~

グループホーム職員 木下文夫

5月は本当にいろいろな出来事があり、驚くような日々の連続でした。特に、地球温暖化による異常気象は私たちにも身近に感じるようになってきました。世界的規模では震災やハリケーンの襲来による災害に加え、課題山積のG7広島サミット会議を経て見た世界の状況、国内的にはブラックバイトなどの悪質な詐欺や盗難事件の多発、地域規模では篠ノ井東小学校への不審者侵入や県民を驚愕させた中野市のナイフと散弾銃による殺傷事件の発生などがあり、これらの報道を見ていると、人間がおかしくなっているのではないかとすら思われます。

しかし、私たちは日々の生活や歩みをこそ大事にしていきましょう。

話は変わり、コロナ禍を経て手を洗う機会も多くなったと思います。手洗には、汚れている、汚れていないに関わらず、そして自分の為だけでなく、ほかの誰かに感染を広げないようにという思いも込められています。身の回りを振り返ってみると、例えば駅のトイレや近所のゴミ集積場など、いい加減な扱いをすればすぐに汚れてしまうような場所がきれいに維持されているのを見かける機会があると思います。これは自然にきれいになったのではなく、見知らぬ誰かのおかげできれいに保たれているのだと思います。逆にいいかげんな扱いをすると、他の人も同じように扱いはじめ、汚れたり、壊れたりしてしまうことにつながります。私の使う通勤路の坂道で、ある日一つのごみ袋が傍らに捨てられ放置されていました。その2日後には同じようなビニール袋のごみが近くのカーブに捨てられていました。さらに3つ目が……こうして投棄されたごみが増えていきます。私が問題だと思うのはゴミのポイ捨てという行為だけではなく、そのゴミを誰も片づけずに放置したままになっているという状況に対するやり場のない思いです。以前のことになりませんが全く同じような状況で、信号待ちの停車車両から一人の男性が降りてきてゴミを拾っていかれた方がいました。その人は明照会の職員でした。思ったら動くという当たり前のことができることは素晴らしいと思っています。



手を洗う、顔を洗う、身の回りを掃除する、ゴミを分別して捨てる、一つ一つの行いは小さなことかもしれませんが、自分の身の回りから世の中全体へとつながっています。だからこそ、まずは自分の出来ることから、一つ一つを丁寧に言い、誰もが過ごしやすい世界になるように日々を積み重ねていきましょう。

約3年間の自粛期間が明けて、公共施設での音楽会や演奏会が再開されるようになってきました。私はこれまで市内高校のダンスや吹奏楽・マーチングの発表会によく出かけていました。

演奏の素晴らしさはともかく、それ以上に生徒達の堂々たる姿とキラキラ輝く笑顔に、私は心を奪われました。

その笑顔の裏には、苦労も、悩みも、悔し涙も、そして多くの方の支えがあると思うのです。その全てを含んだ一人一人の姿に感動し、何度となく勇気や元気を頂いてきました。

終わりに、慈悲とは「慈しみ」だけではなく「悲しみ」という文字も書きます。人は誰しもが辛い事や苦しい事、そして悲しい事を体験します。それゆえに、相手に慈しみの心を寄せることが出来るのです。そして、そこに相手とのつながり(共感)が生まれます。そのつながりが「仕合せ(幸せ)」になって行くことを信じたいと思う今日この頃です。



新任職員紹介

新しい職員の皆さんにお聞きしました。

①好きな食べ物 ②自分を動物に例えると... ③頑張りたいこと

蓮の音こども園 金井 和美

- ① 果物・肉料理・カレー
- ② ねこ(人見知り?)
- ③ 子どもたちを安心安全に送迎すること。



グループホーム 大野 浩子

- ① ころつぽの十割そばと季節の野菜天
- ② どっしり落ち着き払った犬ではなく、キャンキャン吠えまくる犬!
- ③ 日常生活いろいろな場面において注意深く、落ち着いた言動を心がける



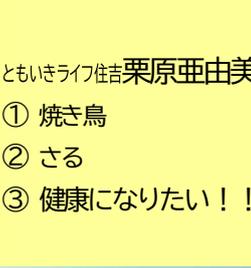
ともいき宝池慈光 金井 秀樹

- ① 焼肉・すし
- ② トド
- ③ 健康でいること。



ともいきライフ住吉 栗原亜由美

- ① 焼き鳥
- ② さる
- ③ 健康になりたい!!



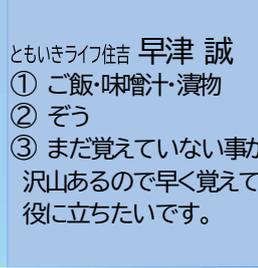
鍛冶町給食 荻原 厚子

- ① 焼肉
- ② いぬ
- ③ 子どもたちに美味しい給食を食べてもらえる様に頑張りたいです。



ともいきライフ住吉 早津 誠

- ① ご飯・味噌汁・漬物
- ② ぞう
- ③ まだ覚えていない事が沢山あるので早く覚えて役に立ちたいです。



事務局 小林 鉄平

- ① 甘さ控えめ「ではない」甘いスイーツ
- ② さる
- ③ 友達100人できるかなの歌を胸の上で明照会の利用者さん、職員の方々と話す!



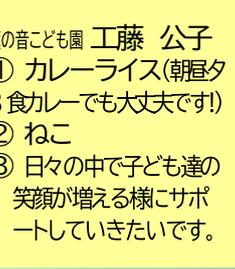
蓮の音こども園 堤 麻里奈

- ① おすし
- ② たぬき
- ③ 子どもに寄り添った保育を心がけていきたいと思っています。



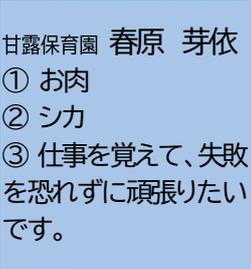
蓮の音こども園 工藤 公子

- ① カレーライス(朝昼夕3食カレーでも大丈夫です!)
- ② ねこ
- ③ 日々の中で子ども達の笑顔が増える様にサポートしていきたいです。



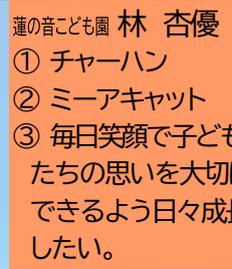
甘露保育園 春原 芽依

- ① お肉
- ② シカ
- ③ 仕事を覚えて、失敗を恐れずに頑張りたいです。



蓮の音こども園 林 杏優

- ① チャーハン
- ② ミーアキャット
- ③ 毎日笑顔で子どもたちの思いを大切にできるように日々成長したい。



蓮の音こども園 山田 涼夏

- ① くるみゆべし
- ② いぬ
- ③ 笑顔と健康第一で頑張りたいです。よろしくお願いします。



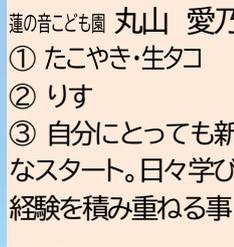
蓮の音こども園 伊藤 亜衣

- ① オムライス
- ② ミーアキャット
- ③ 自分らしく元気いっぱい頑張ります! よろしくお祈りします。



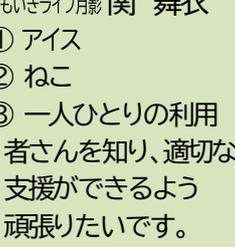
蓮の音こども園 丸山 愛乃

- ① たこやき・生タコ
- ② りす
- ③ 自分にとって新たなスタート。日々学びと経験を積み重ねる事!



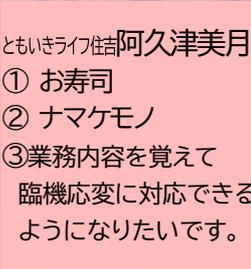
ともいきライフ月影 関 舞衣

- ① アイス
- ② ねこ
- ③ 一人ひとりの利用者さんを知り、適切な支援ができるよう頑張りたいです。



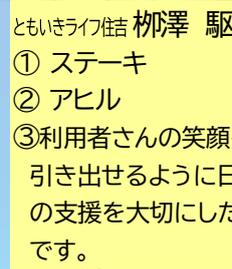
ともいきライフ住吉 阿久津美月

- ① お寿司
- ② ナマケモノ
- ③ 業務内容を覚えて臨機応変に対応できるようにになりたいです。



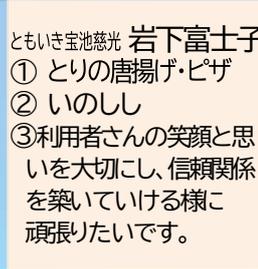
ともいきライフ住吉 柳澤 駆

- ① ステーキ
- ② アヒル
- ③ 利用者さんの笑顔を引き出せるように日々の支援を大切にしたいです。



ともいき宝池慈光 岩下富士子

- ① とりの唐揚げ・ピザ
- ② いのしし
- ③ 利用者さんの笑顔と思いを大切に、信頼関係を築いていける様に頑張りたいです。



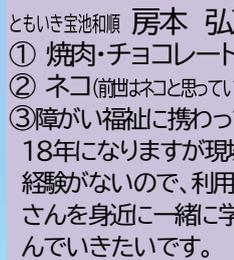
ともいき宝池和順 阿部 斐子

- ① ハンバーグ
- ② さる
- ③ 早く利用者さんの顔と名前を覚えられるように頑張ります。



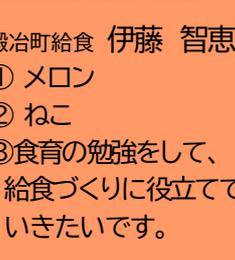
ともいき宝池和順 房本 弘恵

- ① 焼肉・チョコレート
- ② ネコ(前世はネコと思っている)
- ③ 障がい福祉に携わって18年になりますが現場経験がないので、利用者さんを身近に一緒に学んでいきたいです。



鍛冶町給食 伊藤 智恵

- ① メロン
- ② ねこ
- ③ 食育の勉強をして、給食づくりに役立てていきたいです。



編集後記

今年度が始まりあっという間に2か月が過ぎました。5月連休以降、コロナが5類となり世の中が新しい日常へと変化しつつあります。各業界も試行錯誤をしている最中だと思いますが、明照会も、新たなステップへと踏み出しはじめようとしています。その取り組み等をお知らせしながら、身近な温かみのあるニュース等も交え、視野を広く持ち、今後明照会ニュースやホームページを通して発信しながら、各方面の方と連携していければと考えております。「お久しぶりです お元気でしたか」から始まる出会いを楽しみに、皆様からもいろいろな情報をお待ちしております。(今井)

